

文学研究科

総合生存学館を志望する者は、文学研究科修士課程冬期募集のみ受験可能である。

以下の情報は、令和6年度文学研究科修士課程学生募集要項に基づいて、総合生存学館志願者向けに作成した事項であるため参考として読むこと。文学研究科が令和7年度学生募集要項をウェブサイトに掲載次第、本ページを更新するので随時確認すること。一次出願を行った者には願書記載のメールアドレスに連絡する。(以下に記載している日程等については変更される。)

1. 出願書類 (研究科別)

P.8記載の(2) 二次出願書類 (共通) と併せて、第一次試験で文学研究科を受験する者は以下の研究科別の出願書類を提出すること。

<p>論文及び論文要旨 (それぞれ同じものを2部)</p> <p>※提出する論文、論文要旨はコピーしたものでも差し支えありません。 ※本学文学部卒業見込み者は提出不要です。 ただし、所属専修以外の専修を志望する場合は必要です。</p> <p>※論文と論文要旨については、各1部ずつを封筒に入れ、封筒には必要事項を記入した所定用紙を貼付してください。</p>	<p>1. 出身大学の卒業論文、又はそれに相当するものを提出してください。</p> <p>卒業論文の内容が志望する専修と関連がないときは、志望する専修に関連がある論文を作成し提出してください。</p> <p>(ア) 中国語学中国文学、インド古典学、スラブ語学スラブ文学、ドイツ語学ドイツ文学、英語学英米文学、フランス語学フランス文学、イタリア語学イタリア文学、哲学、西洋哲学史、言語学の専修志望者については、提出論文が日本語、英語または志望専修で主として取り扱う言語 (※) の場合、それと同内容の論文を別言語で併せて提出する必要はありません。</p> <p>(※) 不明な点があれば、総合生存学館教務掛に問い合わせてください。</p> <p>(イ) 上記以外の専修志望者については、提出論文が外国文の場合、それと同内容の日本語の論文を併せて提出してください。</p> <p>2. 論文要旨は、日本語4000字程度で作成し、論文とは別綴じとしてください。</p> <p>ただし、英語学英米文学専修志望者の論文が日本語の場合は、その要旨は英語で書いてください。(様式随意)</p>
<p>研究計画書</p>	<p>思想文化学、行動文化学、現代文化学の専攻志望者については、大学院で取り組みたい研究についての研究計画書(日本語の場合2000字以内、英語の場合1000語以内)も併せて提出してください。</p>

二次出願書類 (共通) 及び (研究科別) の郵送

受付期間：2023年12月12日(火)～2023年12月18日(月) 午後4時(必着)

提出先：〒606-8306 京都市左京区吉田中阿達町1

京都大学大学院総合生存学館教務掛

TEL (075)762-2002, 2010

注) 郵送は、書留速達便・レターパックプラス等の安全な手段によるものとし、封筒の表に「総合生存学館一貫制博士課程募集 (2025年4月期) 出願書類在中」と朱書 (レターパックプラスの場合は「品名」に記載) のうえ、上記提出先へ送付すること。なお、提出された出願書類に不備があれば、総合生存学館教務掛から問い合わせることがある。

2. 選抜試験実施方法

選抜試験は以下の内容の第一次試験と第二次試験によって実施します。

第一次試験	(ア) 外国語試験	(イ) 専門科目試験
第二次試験	(A) 専門に関する試験	(B) 口頭試問

一般的注記

- (1) 第二次試験は、第一次試験合格者のみについて実施します。
- (2) 選抜試験全般について、辞書を使用可と特記した以外の試験では、辞書の使用を認めません。
- (3) 外国人留学生（留学、文化活動等の在留資格を有する者）については、第一次試験（ア）の「外国語試験」では、下記の専攻（専修）ごとの注記の指示にかかわらず、すべての受験生に「日本語」の筆記試験が課されます。

3. 選抜試験日程（試験場 京都大学大学院文学研究科）

(1) 第一次試験	外国語 2024年2月5日（月）午前9時～午前10時30分 専門科目 2024年2月5日（月）午前11時～午後0時30分 ただし、歴史文化学専攻の全専修は 午前11時～午後1時
(2) 合格者発表 （第一次試験）	2024年2月6日（火）午後5時頃 総合生存学館教務掛から入学願書記載のメールアドレスに連絡します。 電話、メール等による問い合わせには一切応じません。
(3) 第二次試験	2024年2月8日（木）午前10時～

専攻（専修）ごとの注記

	第一次試験	第二次試験
文献文化学専攻	<p>(ア) 外国語試験 英語・独語・仏語のうち一つを選んでください。 ただし、以下の制限があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インド古典学：英語を選択 ・フランス語学フランス文学：英語・独語から一つを選択 ・ドイツ語学ドイツ文学：英語・仏語から一つを選択 ・英語学英米文学：独語・仏語から一つを選択 <p>(イ) 専門科目試験 各専修において、志望する専修に関する基礎的学力を問う筆記試験を行います。 ただし、インド古典学と仏教学専修では、サンスクリットの読解問題を含みます。</p>	<p>(A) 専門に関する試験 各専修に関する専門試験を行います。 ただし、各専修の試験内容については、以下を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国語学中国文学：英語の読解力を問う問題を含みます。 ・インド古典学：独語あるいは仏語のうち一つの読解力を問う問題を含みます。 ・仏教学：チベット語と漢文に加えて、独語あるいは仏語のうち一つの読解力を問う問題を含みます。 <p>(B) 口頭試問 各専修において、提出論文を中心として口頭試問を行います。 ただし、フランス語学フランス文学専修志望者には、フランス語による口頭試問も行います。</p>

	第一次試験	第二次試験
思想文化学専攻	<p>(ア) 外国語試験 英語の筆記試験を行います。</p> <p>(イ) 専門科目試験 志望する専修に関する基礎的学力を問う筆記試験を行います。 ただし、各専修の内容については、以下を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 哲学：哲学と西洋哲学史に関する基礎学力を問う筆記試験を行います。(西洋哲学史と共通) ・ 西洋哲学史：哲学と西洋哲学史に関する基礎学力を問う筆記試験を行います。(哲学と共通) ・ 日本哲学史：日本哲学史に関する基礎学力を問う筆記試験、および外国語試験(英語、独語、仏語のうち、(ア)で選択しなかったもので、かつ母語でないものを一つ選ぶ)を行います。 ・ 倫理学：倫理学に関する基礎学力を問う筆記試験を行います。 ・ 宗教学：宗教哲学・宗教学の基礎学力を問う筆記試験と、外国語試験(英語、独語、仏語のうち、(ア)で選択しなかったもので、かつ母語でないものを一つ選ぶ)を行います。願書の「専修選択科目の事前選択」の欄に受験を希望するもの一つを必ず記入してください。 ・ キリスト教学：キリスト教学に関する基礎学力を問う筆記試験を行います(ヘブライ語、ギリシア語、ラテン語のうち一つの基礎的語学能力を問う問題を含みます)。 ・ 美学美術史学：美学美術史学に関する基礎学力を問う筆記試験(日本語)と外国語試験を行います。外国語試験は、英語、独語、仏語、伊語から2科目を選択。ただし、日本・東洋美術史学専攻希望者に限り、英語、独語、仏語、伊語、漢文、日本語(古文)から2科目を選択することができます。 	<p>(A) 専門に関する試験 各専修に関する専門試験を行います。 ただし、各専修の試験内容については、以下を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 哲学：英語、独語、仏語および論理学のうち第一次試験(ア)で選択しなかった科目の筆記試験を行います。願書の「専修選択科目の事前選択」の欄に受験を希望するもの一つを必ず記入してください。 ・ 西洋哲学史：近世を志望する場合、英語、独語、仏語のうち第一次試験(ア)で選択しなかった科目の筆記試験を行います。願書の「専修選択科目の事前選択」の欄に受験を希望するもの一つを必ず記入してください。古代を志望する場合にはギリシア語、中世を志望する場合はラテン語を選択する必要がありますので、願書の「専修選択科目の事前選択」の欄に選択科目を記入する必要はありません。ギリシア語については、試験時に希英辞書を貸与します。 ・ 日本哲学史：日本哲学史に関する専門知識を問う筆記試験を行います。 ・ 倫理学：英語、独語、仏語のうち第一次試験(ア)で選択しなかったもの一つの筆記試験を行います。願書の「専修選択科目の事前選択」の欄に受験を希望するもの一つを必ず記入してください。 ・ 宗教学：宗教哲学的思考力を問う論述試験を行います。 ・ キリスト教学：英語、独語、仏語のうち、第一次試験(ア)で選択しなかったもの一つの筆記試験を行います。願書の「専修選択科目の事前選択」の欄に、受験を希望するもの一つを記入してください。特に希望がない場合は、空欄のままにしておいてください。 ・ 美学美術史学：美学美術史学に関する専門試験(日本語による論述試験)を行います。 <p>(B) 口頭試問 各専修において、提出論文を中心として口頭試問を行います。</p>

	第一次試験	第二次試験
歴史文化学専攻	<p>(ア) 外国語試験 英語・独語・仏語のうち一つを選んでください。</p> <p>(イ) 専門科目試験 志望する専修に関する専門試験を行うとともに、歴史文化学専攻の他の4専修に関する設問から1問を選択して解答する筆記試験を行います。</p>	<p>(A) 専門に関する試験 各専修に関する専門試験を行います。ただし、各専修の試験内容については、以下を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本史学：史料と古文書の読解力を判定する筆記試験を行います。 ・ 東洋史学：古典中国語（漢文）の読解力を判定する筆記試験を行います。 ・ 西南アジア史学：イスラーム時代専攻の受験者にはアラビア語・ペルシア語・トルコ語のうちから一言語の外国語試験、古代オリエント史等専攻の受験者には独語・仏語・露語のうちから一言語の外国語試験を行います（いずれの言語を選択した場合も、試験時に貸与もしくは使用を許可された辞書の使用可）。願書の「専修選択科目の事前選択」欄に、必ず選択する言語を記入するようにしてください。 ・ 西洋史学：第一次試験（ア）で受験した外国語以外のもう一言語の外国語試験（英語、独語、仏語、伊語、露語、スペイン語、ポーランド語、オランダ語から選択）と専門に関わる筆記試験を行います。願書の「専修選択科目の事前選択」欄に、必ず第二次試験で受験する言語を記入してください。 ・ 考古学：遺物観察・記録のための基礎技術を修得していることを判定する実技試験、もしくは外国語を含む専門知識に関わる筆記試験を行います。 <p>(B) 口頭試問 各専修において、提出論文を中心として口頭試問を行います。</p>

	第一次試験	第二次試験
行動文化学専攻	<p>(ア) 外国語試験 英語の筆記試験を行います。</p> <p>(イ) 専門科目試験 志望する専修に関する基礎的学力を問う筆記試験を行います。</p>	<p>(A) 専門に関する試験 各専修に関する専門試験を行います。ただし、社会学専修と地理学専修の試験内容については、以下を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 社会学：外国語と社会学に関する筆記試験を行います。外国語試験は、第一次試験で英語を受験した者は独文和訳・仏文和訳・和文英訳問題から一つを、第一次試験で日本語を受験した者は独文和訳・仏文和訳・英文和訳・和文英訳問題から一つを、選択してください。 • 地理学：地理学文献の和文英訳について、筆記試験を行います。 <p>(B) 口頭試問 各専修において、提出論文を中心として口頭試問を行います。</p>

	第一次試験	第二次試験
現代文化学専攻	<p>(ア) 外国語試験 英語の筆記試験を行います。</p> <p>(イ) 専門科目試験 志望する専修に関する基礎的学力を問う筆記試験を行います。</p>	<p>(A) 専門に関する試験 各専修に関する専門試験を行います。 ただし、各専修の試験内容については、以下を参照してください。語学辞書の持ち込みを認めます（電子辞書は不可）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学哲学科学史：専門に関わる和文英訳の試験を行います。（試験の際に、希望者には和英辞書を貸与します。） ・メディア文化学：和文英訳の試験および専門に関わる筆記試験を行います。 ・現代史学：外国語試験および専門に関わる筆記試験を行います。外国語試験で選択できるのは、英語・独語・仏語・露語・伊語・中国語・朝鮮語のうち一つです。願書の「専修選択科目の事前選択」欄に、第二次試験で選択する外国語を必ず記入してください。 <p>ただし、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語・独語・仏語・露語・伊語・中国語・朝鮮語を母語とする者はそれぞれその言語を選択することはできません。 ・第一次試験で英語を受験した者は英語を選択することはできません。 <p>(B) 口頭試問 各専修において、提出論文を中心として口頭試問を行います。</p>